



「罪を犯して 思うこと」

村内男性

本当に後悔しています。今となっては何も言えません…。家族にはつらい

思いをさせ、地域の皆さんには迷惑をかけました。ただただ申し訳ない…。それだけです。

酒をほどほどにできればよかったです。自分にはそれができませんでした。理屈では分かっている…。当然、免許は取り消しになりましたが、今は捕まって良かったと思っています。また免許を取ろうか正直、迷っています。酒を断たない限りまた起こしそうで…。今は時間をかけて自分に強い意志がもてるよう努力しています。

毎月100人以上を検挙

左の表を見てください。平成17年8月1日から平成18年7月31日まで（1年間）の県内各市町村の飲酒運転での検挙状況です。

県内の35市町村合わせた

1年間の検挙者数は1383人。月に平均すると驚くことに、毎月115人が検挙されていることになりま

危険が潜む村の事情

人以上いるということになり、一方で毎日どこかで飲酒運転による事故にわたしたちが巻き込まれる可能性もあるということになるのです。

下の表をご覧ください。

久慈警察署管内では平成14年に本村6人を含む171人が飲酒運転で検挙されています。しかし平成17年には50人と3年間で約7割以上も減っています。その中

で普代村は平成14年は6人、平成17年は5人とほぼ横ばい。仮に、村が久慈市と同じ免許人口だったとすると、平成17年は久慈市の30人の10倍以上、367人が検挙されるという試算になります。

車を運転する人にとつて、事故を起こす確率は誰にもつきまといま

す。それは近くに出掛けるときであろうと、遠くに出掛けるときであろうと変わりはありません。それが正常でない飲酒運転、だったらその確率

は一気に跳ね上がります。過去5年間で久慈警察署管内では、飲酒運転を含む26件、30人の死亡事故が発生しています。村ではこれまで飲酒運転による死亡事故はありませんが、ワースト上位にあるということは重大な事故を招く可能性が高いのです。

人身事故には加害者と被害者が

あります。つまり、村の1915人の免許人口以上に危険が潜んでいて、皆さんが重大な事故に巻き込まれる確率は高いのです。

■飲酒運転の市町村別検挙状況

県環境生活部調べ（H17.8.1～H18.7.31）

順位	市町村名	検挙者数	免許人口	千人当たりの検挙状況
1	川井村	7	1,789	3.91
2	普代村	6	1,915	3.13
3	野田村	8	3,041	2.63
4	矢巾町	43	17,526	2.45
5	北上市	140	59,011	2.37
6	大槌町	21	9,066	2.32
7	滝沢村	79	34,641	2.28
8	八幡平市	43	19,282	2.23
9	平泉町	12	5,628	2.13
10	盛岡市	347	180,663	1.92
11	金ヶ崎町	20	10,591	1.89
12	遠野市	33	18,418	1.79
13	岩手町	17	9,718	1.75
14	藤沢町	10	5,762	1.74
15	一関市	129	76,162	1.69
16	一戸町	14	8,377	1.67
17	葛巻町	7	4,629	1.51
18	紫波町	33	22,154	1.49
19	西和賀町	6	4,292	1.40
20	奥州市	110	81,727	1.35
21	岩泉町	9	6,689	1.35
22	大船渡市	34	25,583	1.33
23	釜石市	31	23,465	1.32
24	田野畑村	3	2,402	1.25
25	陸前高田市	18	14,973	1.20
26	花巻市	78	66,159	1.18
27	宮古市	39	33,233	1.17
28	山田町	12	10,794	1.11
29	雫石町	13	12,140	1.07
30	住田町	4	3,880	1.03
31	久慈市	24	23,486	1.02
32	二戸市	17	18,756	0.91
33	洋野町	10	12,186	0.82
34	九戸村	3	4,207	0.71
35	軽米町	3	6,624	0.45
	計	1,383	838,969	1.65

※免許人口はH18.7月末現在

■久慈警察署管内の飲酒運転検挙者状況（久慈警察署交通課調べ）

	14年	15年	16年	17年	18年1月～10月	11月	合計
久慈市	117	49	54	30	14	3	267
洋野町	35	26	30	6	9	3	109
野田村	13	4	7	9	2	0	35
普代村	6	3	5	5	2	3	24
計	171	82	96	50	27	9	435

※久慈市は（旧久慈市と旧山形村）、洋野町は（旧重市町と旧大野村）単位・人